



畜産経営管理プラットフォーム「BeecoProgram」の利用開始 ～金融機関初、畜産分野における農業融資・経営支援の高度化～

農林中央金庫（以下、「農林中金」）は、酪農・肉牛事業者に対する経営支援の高度化を目的として、丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が提供するデータ統合プラットフォーム「BeecoProgram」（以下、「本システム」）の利用を開始しました。

本システムは、生産データ、財務データ、牛の健康状態などの情報を統合し、畜産経営の可視化を支援するプラットフォームです。農林中金は、国内金融機関で初めて本システムを導入します。生産者の同意および適切な権限設定のもと、データに基づく経営改善支援や農業融資の高度化に取り組んでまいります。2026 年度は、畜産経営に取り組む約 50 戸のお取引先に本システムを利用いただくことを目指し、経営におけるデータ活用および DX 推進を支援してまいります。

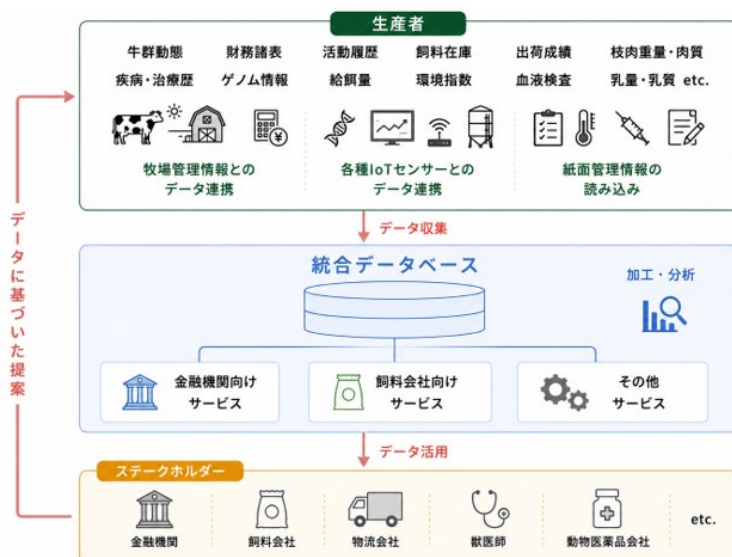
1. 本取組みの背景

畜産業界では、飼料価格や資材価格の変動、担い手不足、環境対応、設備投資負担の増加など、経営を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、金融機関には、従来以上に生産現場の実態を把握し、経営改善や成長投資を後押しする役割が求められています。

農林中金は、農林水産業を基盤とする金融機関として、生産者の皆様の経営課題に寄り添い、資金面にとどまらない支援に取り組んできました。今般、本システムを活用することで、お取引先の生産データや経営データをより的確に把握し、課題の可視化から改善行動の実行、定着まで伴走支援してまいります。

また、畜産事業者との対話の質を高めることで、融資判断の高度化を図るとともに、新規投資の効果を定量的に評価し、事業計画の策定等の支援にもつなげてまいります。これらの取組みを通じて、畜産経営者の経営課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります。

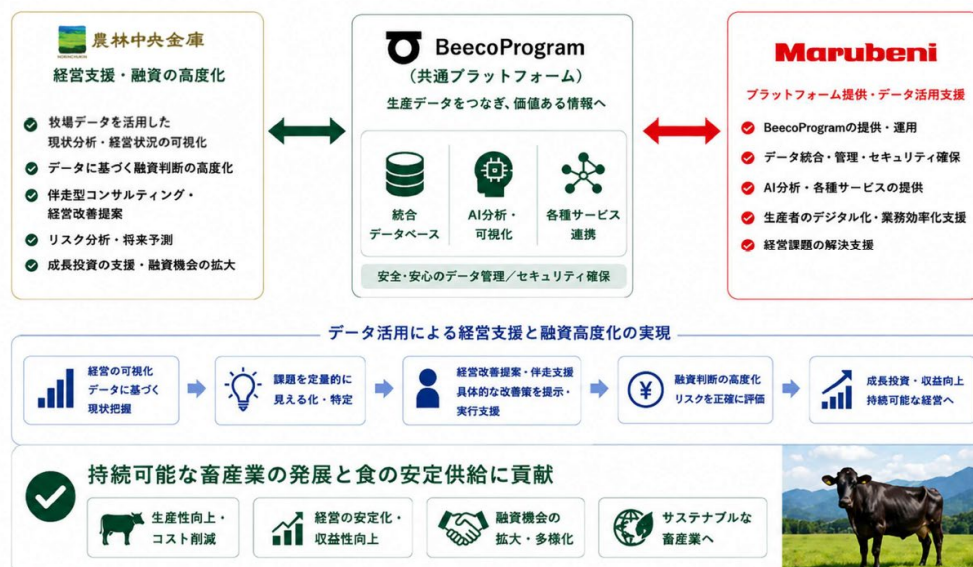
◆BeecoProgram の概要



◆取組みの全体像

農林中央金庫 × 丸紅の連携による農業融資・経営支援の高度化

BeecoProgramを共通基盤として活用し、データに基づく経営支援と融資の高度化を実現します



2.本取組みにより期待される効果

本システムの活用により、生産者、農林中金、飼料会社などの関係者が、必要なデータを適切に共有し、同じ情報に基づいて経営課題を把握できるようになります。これにより、経営改善に向けた対話の質を高め、より実効性のある支援につなげることが可能となります。

農林中金は、農林水産業を基盤とする金融機関として、川上から川下までの幅広いネットワークを有しています。本システムの活用を通じて、生産者、金融機関、事業者が連携した新たな畜産経営支援の形を構築し、生乳・牛肉という国内の重要な食料の生産基盤を支える畜産経営者の皆様の経営改善に資する取組みに注力してまいります。

<生産者のコメント> 株式会社坂口畜産（長崎県）

これまで、開拓農協が管理しているデータを基に、必要な情報の抽出を都度、開拓農協に依頼していました。今後は本システムを利用することで、農林中金、開拓農協、飼料会社とタイムリーに情報連携でき、これまででない提案を受けられることを期待しています。また、自分自身でも、牛の属性に応じた分析に取り組みたいと考えています。

<丸紅のコメント>

本システムは、『牛を"みんな"で飼う世界へ。』をコンセプトに、現場に溢れるデータを集約・活用し、生産者様と金融機関や飼料会社などのパートナー企業様をつなぐ基盤です。今回の農林中央金庫様との取り組みは、まさにこのコンセプトの体現に向けた大きな一歩と捉えております。ワクワクする畜産業界の構築に向けた一助となれば幸いです。

<農林中金のコメント>

本システムの活用により、従来はエクセルや紙で個別に依頼していたデータを一元的に確認できるようになり、生産者の皆様の飼養状況や経営状況をタイムリーに把握できるようになりました。今後は、金融取引にとどまらず、関係機関とも連携しながら、経営改善に資する提案を行ってまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
(蔵方・丹羽) TEL 03-6362-7172